

平成30年度 第5学年 授業改善プラン

教科	観 点	課 題	指導の視点	具体的な手立て・改善策
国語	国語への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主語、述語、修飾語を適切に用いることが苦手な児童が多い。</li> <li>・説明的文章から内容を読み取ることや、要約することが苦手な児童が多い。</li> <li>・漢字の書き取り、言葉の意味の理解が十分でない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主語、述語、修飾語を適切に用いて、文章の構成を考えて書く力を身に付けさせる。読み手を意識させて書かせる。</li> <li>・段落ごとに要点をまとめることで、筆者の意見を読み取らせる。また、物語文では根拠をもとに想像して読み取れるよう指導する。</li> <li>・漢字の家庭学習で定着を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「書くこと」の単元では、具体的に書き方を例示する。「初め・中・終わり」の構成を考えて、文章を書けるよう指導していく。また、友達と伝え合う活動を通して、自分の文章を推敲する習慣を身に付けていく。</li> <li>・「読むこと」の単元では、音読を宿題に出し理解の定着につなげる。物語文では、サイドラインを引いたり、場面ごとに詳しく読み、登場人物の心情や場面の様子を本文の描写を基に捉えさせる。説明的文章では、叙述を基に、事実と感想や意見を区別して読み取ったり、要旨まとめをしたりする。また、構成の特徴や工夫について考える。</li> <li>・漢字の反復練習→小テストを繰り返すこと、定着を図る。</li> </ul>
	話す・聞く能力			
	書く能力			
	読む能力			
	言語についての知識・理解・技能			
	全国学力調査、児童・生徒の学力向上を図るための調査結果を受けて	漢字の意味を考えながら、書き取り読み取りの練習をする。また、日常的に既習の漢字を使うよう指導する。	漢字の意味にも着目して、新出漢字の学習を行う。また、単元の初めには、国語辞典で意味調べを行うことで語彙力を高める。	
社会	社会的事象への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国土の様子や世界の国々への興味関心に差があり、学習への意欲への差につながっている。</li> <li>・グラフや図の読み取りが苦手な児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃から日本や世界の情報を発信し、興味・関心を促す。また、提示する資料を工夫する。</li> <li>・グラフや図、写真等の資料を効果的に用いて、興味関心を引き出すと共に、資料の読み方を丁寧に行っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の内容に関わらず、日本や世界の時事ニュースや児童に身近な問題を紹介することで、社会への興味・関心を促し、自分の生活と関連付けて考えられるようにする。</li> <li>・児童の疑問から問題を作り、問題解決型の授業を展開していく。</li> <li>・テレビにグラフや図を提示して読み取りの練習をし、さらにそこからどのような意見をもったのかを話し合い、調べたりまとめたりして解決していく。</li> </ul>
	社会的な思考・判断・表現			
	観察・資料活用 の技能・表現			
	社会的事象についての知識・理解			
算数	算数への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容の定着の差が大きく、関心・意欲・態度にも差が出ている。</li> <li>・数学的な考え方が十分に身に付いていない。また、問題を正確に読み取れず、意図にそぐわない解答をすることがある。</li> <li>・小数のわり算では、計算の仕方の理解が不十分で、技能が定着していない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個に応じた指導により一人ひとりの児童の意欲を引き出す。</li> <li>・授業で、数学的な考え方を問うような課題を設定し、考えさせる。</li> <li>・小数のわり算の仕方がわかり、正確にできるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・習熟度別コースのクラス分けに工夫し、それぞれのコースの学習をより効果的に進めるようにする。</li> <li>・数学的な考えを問うような問題を設定し、問題解決学習の過程を通して、自分の考えをまとめ、友達と話し合わせるにより、よりよい考えに気付かせる。</li> <li>・小数のわり算の問題練習を適宜行い、定着を図る。</li> </ul>
	数学的な考え方			
	数量や図形についての技能			
	数量や図形についての知識・理解			
理科	自然事象への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習事項の定着が十分でない。</li> <li>・予想をたてる時に、既習事項を想起するのが難しい児童がいる。</li> <li>・自然事象が理解できていなかったり、科学的知識が身につけていない児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習事項について、実験や観察を想起させて考える時間を取る。</li> <li>・今までの実験や観察、生活経験から、根拠をもって予想を立てられるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの学習を確認してから新しい単元の学習を始める。また、実験、観察したものはよく理解できている傾向にあるため、必然性をもたせて実験・観察を行うようにする。</li> <li>・疑問に思ったことや不思議に思ったことを、どうしたら解決できるか自分たちで考え、実験や観察につなげて問題を解決していく。</li> </ul>
	科学的な思考・表現			
	観察・実験の技能・表現			
	自然事象についての知識・理解			
音楽	音楽への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌唱では、一人一人が声を出して歌うことや曲想に合った表現で歌うことに課題がある。</li> <li>・器楽では、ほぼ全員がリコーダーの指づかいに気を付けて演奏できているが、タンギングの仕方に個人差があり、音色にこだわりをもって演奏することに課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師が児童の様子を把握し、成長を促せるような声かけを行う。互いを認め合える雰囲気づくりをする。</li> <li>・鑑賞などで、どのような音色が心地よいのかを感じさせる。その音色に近づけるように、演奏しようという気持ちにさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎時間こまめには達成してほしいことを児童がわかりやすいように提示する。その中で、前時と比べてできるようになったことや頑張りを認めるような声掛けを行う。</li> <li>・リコーダー演奏の基本である「姿勢」「タンギング」「指づかい」を復習し、鑑賞により自分が感じ取った良い音色に近づけるよう繰り返し練習を行う。</li> </ul>
	音楽表現の創意工夫			
	音楽表現の技能			
	鑑賞の能力			
図画工作	造形への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の規律はある程度守れているが、掃除や準備の場面では班で協力しようとする意識が少し弱い児童が見られる。作品づくりには一生懸命取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・準備、片づけを必ずやる習慣を身に付けさせる。</li> <li>・お互いを認め合う雰囲気をつくる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・準備、片づけの場面での役割分担を教師側で指定する。</li> <li>・鑑賞会の場面などで友達の作品の良いところを褒め合う時間をつくる。</li> <li>・めあては提示するだけでなく、一緒にめあてを確認したり考えたりする場面をつくる。</li> </ul>
	発想や構想の能力			
	創造的な技能			
	鑑賞の能力			
家庭	家庭生活への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初めての家庭科に興味をもち、意欲のある児童が多いが、調理や裁縫等の技能面での経験が少ないので、思い通りにいかず、習得が難しいと感じる児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確実に理解し、習得できるよう、スモールステップで丁寧に指導する。</li> <li>・「できるようになった」という楽しさを実感させ、更に工夫してよりよいものを作る意欲を高めていくように指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分も作ってみたい。」と意欲を湧かせるような師範を提示する。</li> <li>・実習では、作業手順を示す掲示物や映像などで、理解しやすくしたり、いつでも確かめたりできるようにする。</li> <li>・作業時間を十分に取れるよう、授業の組み立てを工夫する。</li> <li>・友達の意見を聞いたり作品を見合ったりする時間をとり、自分の学習や作品作りに反映できるようにする。</li> </ul>
	生活を創意工夫する能力			
	生活の技能			
	家庭生活についての知識・理解			
体育	運動や健康・安全への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習への意欲は高いが、友達との学び合い、教え合いに対して消極的な児童が多い。</li> <li>・目標を達成するための工夫を考え運動する児童が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1人1人がめあてをもって、進んで運動ができるようにする。</li> <li>・友達と教え合い、学び合いをする場を作り、技術の向上を図る。</li> <li>・スモールステップで技能の習得を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動のめあてを明確にし、見通しをもって活動に取り組ませる。ペアやグループ学習を取り入れ、互いの動きを見て助言し合い、技能の向上を図る。また良いところを認め褒め合うことで、自信をもたせる。</li> <li>・目標を達成させるためにどのような練習を積み重ねればよいのかを考え話し合わせ、学習計画を立てていく。</li> </ul>
	運動や健康・安全についての思考・判断			
	運動の技能			
	健康・安全についての知識・理解			